



活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

井上重久 No.50 だより

平成30年11月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 山崎 龍二 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



長崎くんち・「栴島町のコッコデシヨ」庭先回り、平成30年10月9日、市役所西広場前



長崎くんち・小川町人数揃い、平成30年10月4日、NBC前



長崎くんち・「本古川町の御座船」庭先回り、平成30年10月9日、市役所前

384年の伝統と歴史を誇る諏訪神社の秋の大祭「長崎くんち」は、台風25号の影響が心配されましたが3日間とも天候に恵まれ閉幕しました。庭先回りでは、根曳衆が豪快に船を引き回す「本古川町の御座船」、太鼓山を高く放り投げピタッと受け止める「栴島町のコッコデシヨ」、鮮やかな朱色の唐人船で躍動感あふれる「大黒町の唐人船」などが披露され、異国情緒あふれる音色などに市民や観光客は魅了されました。

長崎くんちの華 「コッコデシヨ」

また、長崎市役所前から旧県庁跡地前まで、7つの踊町の傘鉾(かさぼこ)が一斉に練り歩く「傘鉾パレード」も催され見物客から大きな拍手がおこられていました。踊り町の先頭に入ってくるのが「傘鉾」であり、町のプラカードの役目を果たします。傘鉾には、趣向を凝らした様々な装飾が施されており、重さは約130kg、150kgで、心棒の最下部には一文銭を2,500枚から3,000枚を結わえ付け、上下のバランスをとるようにされており、市中を練り歩く傘鉾は壮観なものです。

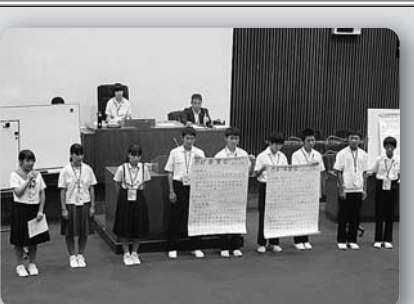
傘鉾パレードは壮観!

長崎人は、笛と太鼓のシャガリの音を聞くと、心はときめき仕事も手につかないとか・・・諏訪の森にシャガリの音が響き、各踊町の関係者は諏訪神社・中央公園・お旅所・八坂神社などでの奉納踊りや庭先回りなど多忙なスケジュールを消化しました。「くんち」過ぎれば本格的な秋到来、地域伝統行事の「里くんち(秋季大祭)」が開かれ、五穀豊穣・ふるさとの繁栄や安全を祈願する等、氏神様に対する感謝の気持ちを含めて、奉納踊りや神事が執り行われます。この長崎の伝統文化を次世代に繋いでいく必要があります。

長崎市議会議員 井上 重久



ながさき幕末維新祭セレモニー (平成30年9月1日、グラバー園)



長崎市立中学生議会 (平成30年8月24日、長崎市議会本会議場)



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 (平成30年8月9日、平和公園)



福田地区安全・安心のつどい (平成30年10月14日、福田本町公民館)



第44期不動産設計労組定期大会 (平成30年10月5日、地本労働会館)



三菱関連労連ファミリーフェスタ2018 (平成30年9月23日、結の浜マリパーク)

お金の備忘録 8月~10月



市民クラブ平成31年度政策要求!
市民クラブは10月9日、中・長期的視点に立ち、新規・継続見直し要求も含め8分野54項目の政策提言を取りまとめ、田上市長に対し「平成31年度政策要求」を行いました。
また、「平成31年度予算で取り組むべき重点課題」17項目について、市長・担当部局に対しその実現を図られるよう強く要請しました。
(具体的には井上重久ホームページをご参照下さい)
〈主な要求内容〉
◇将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・推進するとともに、企業誘致についても県と連携を図り、正規雇用の拡大に向けて全力で取り組むこと
◇新庁舎・新たな文化施設・MICEを含めた長崎駅周辺整備と民間のスタジアム建設計画等大型事業の建設については、関係先との連携のもと、完成後の交通体系など十分精査し万全を期すよう努めること
◇小・中学校の学校統廃合の実施にあたっては、地域住民・保護者の意向も尊重し十分な理解と協力を得て行なうこと など

編集後記

▼今夏の最高気温が35度以上の猛暑日が記録的となるなか、県内自治体の首長は小中学校へのエアコン設置の見解を示し、一般会計補正予算の中に設計費や設置費などの事業費を計上している。
長崎市は、現在、建て替えを進めている「伊良林小」「仁田佐古小」「外海中」への設置費に加え、ほかの小中学校60校と中学校38校での設置に向けた設計費が計上された。
中学校を最優先に2019年6月までに市内の全中学校と小学校の一部(12校)に、残りの小学校は2020来年3月までに設置することになっている。
▼長崎市・4道路整備促進協議会(一般国道34号道路整備促進協議会、一般国道499号道路整備促進協議会、長崎外環状線道路建設促進協議会、一般国道202号福田バイパス道路整備促進協議会)は、10月5日国土交通省九州地方整備局に対し、「道路整備の推進と予算の確保について」二般国道34号の整備推進について二都市計画道路東長崎縦貫線の整備促進への御協力について」の要望活動を行った。その後、意見交換では関係団体・地元代表として地域の要望を訴えた。

ご相談は お気軽に!
長崎市議会議員 井上 重久
自 宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985
http://inoueshigehisa.net/

補正総額12億6,454万9千円、31の議案を可決・同意!



長崎市議会平成30年第3回定例会は、9月3日に開会し9月21日までの19日間の日程で開催されました。補正予算は、小・中学校や市施設の危険なブロック塀を撤去・フェンスに取り換える対策費、小・中学校の空調設備費など一般会計補正予算11億1,222万9千円、特別会計1億6,332万円の総額12億6,454万9千円が承認されました。

また、長崎市がJR長崎駅西側で計画している交流拠点施設(MICE)の整備・運営を担う予定の特別目的会社と事業実施の正式契約を結ぶ議案について、賛成26、反対12で賛成多数で可決しました。

条例改正では、生徒数が減少している市立式見中学校を2019年度末に閉校し、近隣の市立小江原中学校へ統合する条例の一部改正は、賛成33、反対6で可決、地域コミュニティ連絡協議会の認定等に関し必要な事項を定める「長崎市地域におけるまちづくりの推進に関する条例」は継続審査となりました。

工事の請負契約の締結について(長崎市防災行政無線デジタル化整備工事)、工事の請負契約の締結について(仁田佐古小学校建設主体工事②)など条例11件、予算6件、人事2件、その他8件、報告4件を可決・同意しました。

併せて、議員提出の「吉原日出夫議員に対する辞職勧告決議について」は、政務活動費の新たな不正受給が9月20日に発覚し、昨年の6月、今年6月に続き3回目の「辞職勧告決議」を全会一致で可決しました。

補正予算の主な内容

- ◆小・中学校整備事業費
空調設備整備
：1億1,520万円
市立小・中学校において、普通教室及び理科室・音楽室等の特別教室に新たに空調設備を整備するための設計を行うもの。
- ◆小・中学校整備事業費
伊良林小学校舎等改築
：2,800万円
仁田佐古小学校舎等建設
：1,290万円
対象学校数 小学校60校
中学校36校
- ◆小・中学校舎等維持補修費
：1億3,647万円
市立小・中学校のブロック塀等について、倒壊防止のための安全対策を行うもの。
・フェンス取替 30か所
・撤去 36か所
・調査 173か所



◆小・中学校統合型校務支援システム導入費
：4,608万6千円
業務の標準化及び効率化を図り、教職員の働き方を改善するため、統合型校務支援システムを導入するもの。
・導入時期 平成31年1月

◆海外中学校校舎等建設
：800万円
建設中の新校舎において、普通教室及び理科室に新たに空調設備を整備する経費を増額するもの。

一般質問(要旨)

外郭団体の運営について

質 問：長崎市外郭団体等経営検討委員会からの提言を受けての検討状況は？

回 答：クリーンながさきの前身である長崎衛生公社について、し尿収集世帯の減少や散在化により、平成18年度末に累積債務が17億円を超える経営状況となった。このことからし尿収集体制の縮小、早期退職制度の実施及び給与水準の見直しなど抜本的改善に取り組み、平成24年に長崎衛生公社を解散し、「一般財団法人クリーンながさき」を設立した。

必要な取り組みについての話し合いが開催されている。

また、準備委員会設立に向け検討されている地区が31地区、検討に至っていない地区が30地区ある。検討に至っていない理由は、「地域コミュニティのしくみづくりについての必要性の理解が地区内で広がっていない」「他の地区の進み具合を見ながら判断したい」など地区によって様々であり、地域の現状をしっかりと聴いて、地域の実情を知ることから始めている。



防災・居住環境など改善が図られた水の浦地区

斜面市街地再生事業にCSN

質 問：斜面市街地再生事業8地区の進捗状況及び課題への対応は？

回 答：長崎市では、斜面市街地における防災性の向上や居住環境の改善を図るため、平成7年度から「斜面市街地再生事業」に着手しているが、事業には多くの家屋移転を伴うことなどから事業が長期化し、未だ着手していない路線もあり、重点整備地区全体の進捗率は事業費ベースで約5割に止まっている。

このうち着手している道路の整備状況は、水の浦地区が今年度の完成を目指し、南大浦地区が平成31年度、稲佐・



飽の浦地区の車みち整備事業

旭地区が平成32年度、立山地区が平成36年度の完成を目指し整備を進めている。

かねてから「まちづくり協議会」との意見交換で、事業の着手時期が未定であり、不動産の取り扱いに悩んでいる等のご意見をいただき、平成24年度に未着手路線の地権者の方々を対象にアンケート調査を行った。その調査では、事業への協力を示された方が約3割に止まり、新たな路線に着手しても事業の長期化が予想される結果となった。

したがって、斜面市街地再生事業は、現在施工中の生活道路の着実な完成に努め、併せて、「車みち整備事業」や「老朽危険空き家」の除去への支援など、即効性・実現性の高い事業へ転換する方向で、「まち

地域コミュニティについて

質 問：モデル地区やそれ以外の地区の進捗状況、取り組みが進まない地区の課題は？

回 答：平成30年度は、式見、ダイヤランド、土井首、深堀、茂木、横尾の6地区をモデル地区として、まちづくり計画に基づく事業に取り組んでいる。モデル地区以外の地域では、大園、香焼、戸町、西北、福田、北陽、晴海台、西町、野母崎樺島、西城山の10地区で協議会設立に向けた準備委員会がつけられ、それぞれの地域の現状の把握や、将来像



福田小学校区地域コミュニティ第2回ワークショップ

づくり協議会をはじめ関係機関と事業の見直しについての協議・調整を早急に進める。



質疑の概要、意見・要望は、井上重久ホームページ(議会報告)のなかに掲載していますので、是非アクセス頂ければと思います。



20回目の登壇(平成30年9月10日、本会議場)